



令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 山口県 】

学校名【 萩市立大島小中学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ⑤ (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童生徒42名・教職員14名
3 展開の形式	○学校における活動 ・行事名（陸上教室・アスリート講演会） ・その他（インタビューによる食育教育）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたオリパラ教育を推進し、運動やスポーツへの関心を高めることで、子どもたちに運動習慣の定着・改善を図る。 ・著名なスポーツ選手による講演やデモンストレーション、リモートインタビューから自らの生き方について考えるとともに、体力や健康意識の向上についての意欲を高める。 ・トップアスリートと専門家へのインタビューを通して、健康的な食生活について知り、自らの生活習慣や食習慣を見直す。
5 取組内容	<p>(1) 講演会・陸上教室</p> <p>トップアスリートによる講演や実演により、柔軟性を高めることの必要性について理解することや効果的な運動方法を知ることが目的として実施した。</p> <p>①事前の活動 ワークシートを用い、講師への質問を記入した。</p> <p>②講演会・陸上教室 マスターズ陸上で活躍される杉本瑛美維様・杉本渉様を講師に招き、講演会と陸上教室を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟性を高めることの大切さや持久走大会でのウォーミングアップの仕方などについての講話・生活する上で基本となる正しい姿勢の保ち方や自分で取り組めるトレーニング方法、短長距離それぞれの走り方の違いについての実技指導 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③事後の活動 講演会・陸上教室で学んだ内容を意識させ、持久走大会に臨んだ。ウォーミングアップで動的ストレッチを取り入れる児童生徒が多くみられた。</p> <p>(2) リモートインタビューによる食育教育 保健体育委員会の取組として、食に関する専門的知識を有するプロスポ</p>

	<p>ーツ選手や専門家にインタビューを行った。</p> <p>①事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に食事に関する意識調査を実施した。 <p>②リモートインタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をする上で気を付けることや適切な食事の量などについて専門家の話を聞いた。(5組6名) <p>③事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューで聞きとった内容をもとに啓発ポスターを作成して文化祭で掲示した。 <div data-bbox="528 528 1289 714"> </div>
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 陸上教室・講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動への関心や実践的な意欲を高めることができた。 「陸上教室では、長距離走と短距離走の走り方の違いを体感することができました。腕の振り方や足の動かし方なども教えていただいたので、勉強になりました。」(中3女子) ・学んだ内容を実践することができた。 「姿勢よくリズムカルに脱力して走るというアドバイスを意識して走ることができました。」(中3男子) <p>(2) リモートインタビューによる食育教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを考えた食事の大切さを学んだ。 「試合の前日もほぼいつもと同じメニュー、量を食べていることに驚きました。スポーツ選手は日頃から食生活に気を付けていることが分かりました。」(中1女子)
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>(1) 陸上教室・講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校は小中一貫校であるため、小1から中3までが一斉に学べる内容を計画した。また、事前に質問を準備していたため、効率よく回答していただくことができた。 <p>(2) リモートインタビューによる食育教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを意識化させるため、ポスターにまとめた。そのポスターを文化祭で展示して、全校児童生徒や地域住民への啓発を図った。また、インタビューの様子を録画した映像を地元のケーブルテレビで島内全家庭に放送した。
<p>8 主な課題等</p>	<p>(1) 陸上教室・講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組を継続して行うことが大切である。体育授業や部活動で取り入れるだけでなく家庭との連携を図り、運動習慣の定着だけでなく、傷害予防にも努めたい。 <p>(2) リモートインタビューによる食育教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育について、家庭とも連携して取り組む必要がある。今回新型コロナウイルス感染症対策としてリモートインタビューを採用したが、このような取組を他の活動にも活用したい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家に協力を依頼できる今回のような機会を通して、健康課題について児童生徒が考え続けられるようにしていきたい。